

## 平成26年度 スポーツ振興関連事業の概要（文化・スポーツ課関連）

事業名	○スポーツ王国北海道事業費				
<b>事業内容</b>					
<b>1 スポーツ機会の向上</b> 【特定財源：toto助成金】					
			予算額	H25実績	
○スポーツチャレンジ教室 本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎え、五輪種目や冬季種目を中心とした体験型教室の開催			3,508	チャレンジ教室 2会場1,542名	
○ペアレンツスクール ・子どもの親を対象とした講習会を開催 ・講習会用ハンドブックの作成			817	ペアレンツスクール 4会場 111名	
○地域スポーツ支援事業 総合型クラブ育成の支援等のため、指導者養成事業などを実施 ・クラブマネジメント講習会の開催 ・全道スポーツ連携会議の開催 ・指導者派遣事業			3,924	総合型クラブ育成 札幌市 参加者延べ83名・ スポーツネットワーク会議 札幌市 参加者102名 ・指導者派遣事業 6市町 延べ8名を派遣	
<b>2 発掘・育成</b>					
			予算額	H25実績	
○有望選手発掘・育成事業 【特定財源：toto助成金】 小中学生から有望選手を発掘・育成しながら冬季ジュニア育成強化事業へ繋げる。 ※平成25年度は制度設計、平成26年度から本格実施			17,265	・先進地の視察（5県） ・検討会議の開催（8回）	
○冬季スポーツジュニアアスリート強化事業 高校生を中心に選抜ジュニアアスリートの強化活動を実施 ・冬季スポーツセミナーの実施 ・冬季スポーツ競技別強化活動（（公財）北海道体育協会補助）			14,698	・全体セミナー 参加者32名 4種目で実施 ・競技別強化活動 2種目で実施	
<b>3 スポーツ界の人材の好循環</b>					
			予算額	H25実績	
○アスリートキャリア形成事業 現役を引退したトップアスリートを採用し、現役選手への技術やライフスタイルのサポートの実施。			9,390	・集合プログラム（10回） ・大学生サポート（4校） ・高校生サポート（2校）	
※平成25年度までの「広域スポーツセンター事業費」を統合					
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	49,602 千円	25年度予算額	35,771千円

事業名	○北海道スポーツ表彰								
目的：スポーツの振興に寄与したものとびスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。									
過去の受賞者数									
区 分		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
スポーツの振興に寄与した者		4	6	5	6	4	4	3	3
スポーツの優秀な成績を収めた者（個人）		7	5	10	3	10	20	6	4
スポーツの優秀な成績を収めた者（団体）		—	1	—	2	2	2	6	2
合 計		11	12	15	11	16	26	15	9
特別表彰		—	2	3	—	2	—	—	—
スポーツ奨励賞（H20新設）		—	—	6	5	4	1	2	4
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	528 千円	25年度予算額	652 千円				

事業名	○文化・スポーツ振興事業費（北海道マラソン・ソウル国際マラソン交流事業費）				
目的：H22.10月に北海道とソウル特別市が友好交流協定を締結したことを契機として、スポーツ分野の観点からソウル国際マラソンと北海道マラソンとの交流を図り、両地域の友好親善を深める。					
1 事業概要 ○両地域における最大規模のマラソン大会のランナーの交流を図り、それぞれの大会をPRすることにより、一般市民ランナーの交流拡大をめざし、両地域の友好交流の促進とスポーツ振興を図る。					
2 事業内容 (北海道) 選手受け入れ（ソウル国際マラソン出場者2名程度招待） ソウル国際マラソン大会へ北海道知事賞等を出賞 (ソウル) 選手受け入れ ソウル特別市長賞出賞					
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	642千円	25年度予算額	951千円

事業名	○スポーツ競技力向上推進費補助金				
概要：（公財）北海道体育協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助 [補助金交付先：（公財）北海道体育協会]					
《事業内容》					
事業名		事業内容	実施規模 H26	予算額	H25実績
指定強化指導者研修会		・実技を中心とした系統的指導法 ・技術の習得	50種目 150人	2,167	参加指導者77人 札幌市
選手強化事業	ジュニア 道内合宿	・1年を通じて実施される道内の合宿	50種目 1,078人	60,638	45種目 延べ166回 選手2,746人
	強化合宿 道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	44種目 307人		31種目 延べ61回 選手624人
	有望選手活動支援	・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり 20万円		
競技団体育成事業		・競技力向上推進委員会		125	
スポーツ医・科学トータルサポート事業		・合宿地・国体会場等での医学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営（調査研究）	3種目 (陸上、柔道、バドミントン)	7,088	14種目 サポートスタッフ述べ27人
合計				70,018	
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	70,018千円	25年度予算額	77,798千円

事業名	○スポーツ団体活動費補助金				
目的：本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、（公財）北海道体育協会が行う事業に補助する。 [補助金交付先：（公財）北海道体育協会]					
事業内容 (単位：千円)					
事業名		内 容	予算額	H25実績	
国民体育大会運営事業		①国体予選会事業の一部補助 40団体 ②人件費	846	北海道予選会 40競技団体	
競技団体育成事業		①競技団体運営活動費助成 11団体 ②人件費	463	助成7団体	
スポーツ指導員養成事業		①スポーツ指導者ブロッグ研究会 4会場 ②人件費	3,227	道内4会場 参加者249人	
スポーツ少年団育成事業		①スポーツ少年団大会 1会場 ②スポーツ少年団・シニアリーダー研修会 1会場 ③人件費	500		
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	5,036千円	25年度予算額	5,275千円

事業名	○国民体育大会派遣費			
目的	(公財)北海道体育協会が行う国民体育大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金 [補助金交付先:(公財)北海道体育協会]			
補助内容	北海道選手団の国体出場に最低限必要な実費経費(交通費・宿泊費)を、(公財)北海道体育協会が行う派遣事業への補助金として助成する。			
事業概要	26年度派遣者数 1,021人(役員12名、選手・監督1,009人) (25年度派遣者数実績(1,001人(役員12人、選手・監督989人))			
	区 分	第69回大会 本大会	第70回大会 冬季大会(スケート・アイスホッケー)	冬季大会(スキー)
	開催地(主会場)	長崎県	群馬県	群馬県
	開催期間	H26.10.12~10.22(11日間)*	H27.1.28~2.1(5日間)	H27.2.20~2.23(4日間)
	実施競技数	37公式競技・2公開競技	2公式競技	1公式競技
	派遣人員	837人	102人	82人
	* フロック大会及び予選会26人(25年度)			
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	61,186千円	25年度予算額 61,186千円

事業名	○2020ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト(タレント発掘・育成コンソーシアム)構築事業費 (旧事業名:メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業)			
目的	(独)日本スポーツ振興センター(JSC)が実施する「2020ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト(タレント発掘・育成コンソーシアム)」を受託し、女子カーリング選手の強化育成を行うとともに、育成プログラムの確立による本道の冬季スポーツ競技力の向上を図る。(単位:千円)			
	事業名	内 容	予算額	
	実行委員会	①事業全体計画、取組方針等の検討	180	
	運営委員会	①育成選手、育成プログラム、強化合宿の検討	302	
	北海道女子カーリングアカデミー	①カナダ人ヘッドコーチを招聘し、拠点施設(どうぎんカーリングスタジアム)での技術指導の実施 ②専門家による栄養指導等の専門講座の開催 ③国際大会に併せた海外遠征(強化合宿)の実施	38,259	
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	38,741千円	25年度予算額 32,307千円

事業名	文化・スポーツ振興事業費(スポーツ合宿誘致検討事業費)			
目的	アジア大会やオリンピック等の開催に合わせて行われる各国代表団の合宿地として北海道を選定してもらい、トップアスリートの高い技術に触れることで、北海道のスポーツの振興を図る。			
《事業内容》	(千円)			
	区分	事業内容	予算額	
	アンケート調査	・市町村へのアンケート調査 ・国内競技団体へのアンケート調査	90	
	道内の状況調査	・道内市町村への担当職員派遣による調査	223	
	国内先進地等の事例調査	・他都府県への担当職員派遣による調査	1,151	
	国や中央競技団体からの情報収集	・東京への担当職員派遣による調査	536	
	合計		2,000	
担当課	文化・スポーツ課	26年度予算額	2,000千円	

## 平成26年度 スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

事業名	○学校スポーツ振興事業費					
目的：中・高校生の体育スポーツ活動の普及促進を図るため、中・高・定体連全道大会の開催費に補助し、中・高・定体連・全盲体連全国大会等引率教員の旅費を措置する。						
事業内容 <span style="float: right;">（単位：千円）</span>						
	区 分	内 容	予算額	H 2 5 実績		
全国大会	生徒引率旅費	中体連	40,713	330名	東海	
		高体連	21,175	192名	九州	
		(総合体育大会) 高体連	10,081			
		(選抜等大会) 定体連	3,525	36名	東京都外	
		全盲体連	335			
地区大会	生徒引率旅費	中体連	26,466			
		中体連	616			
全道大会	開催費	高体連	767	夏季 15種目	札幌市外	
		定体連	100	冬季 2種目	釧路市外	
				夏季 31種目	札幌市外	
				冬季 2種目	釧路市外	
				6/15～7/3	7種目 札幌市外	
担当課	健康・体育課	26年度予算額	103,778 千円	25年度予算	108,698 千円	

事業名	○スポーツエキスパート活用事業費				
目的：運動部活動に外部指導者を導入し、指導に当たる顧問不足の現状改善を図る。					
事業概要等					
	区 分	事業目的	事業概要	H 2 5 実績	
	外部指導者活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者等のいない学校に、地域のスポーツ専門指導者を派遣し、生徒の技術指導を行うとともに、顧問の実技指導力を養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年48時間程度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌西陵高校女子バスケットボール部外 24校 27部</li> </ul>	
	(武道等指導推進事業～国委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る。</li> <li>・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道・ダンス振興協議会の設置及び講習会の実施</li> <li>・大学や町道場から学校への指導者派遣など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道ダンス・振興協議会の開催（2回開催）</li> <li>・地域の指導者の派遣 柔道186校、剣道1校、相撲1校</li> </ul>	
担当課	健康・体育課	26年度予算	16,939千円	25年度予算	17,311千円

事業名	○学校体育実技講習会費						
目的：学校における体育の実技内容について実践研究を行い、指導力の充実と向上を図る。							
事業の概要							
	区 分	期間	会場	参加対象	実施年		
夏季	小学校体育実技講習会	2日	14会場	小学校における体育実技指導者	毎年(H28まで)		
	中学校・高等学校体育実技講習会	2日	1会場	中・高等学校における体育実技指導者	隔年		
	学校体育柔道・剣道講習会	3日	1会場	中・高等学校における柔道・剣道実技指導者	スポーツエキスパート活用事業で実施		
冬季	学校体育水泳講習会	2日		小・中・高・特における水泳実技指導者	隔年		
	冬季学校体育実技講習会	3日	1会場	小・中・高のスキー又はスケートの実技指導者	毎年		
各講習会の開催ローテーション							
	区 分	H22	H23	H24	H25	H26	H25実績
	小学校体育実技講習会	実施		実施		実施	12/5~6 江別市で開催
	中学校・高等学校体育実技講習会		実施		実施	実施	12/5~6 江別市で開催
	学校体育柔道・剣道講習会	実施		実施		実施	スポーツエキスパート活用事業で実施
	学校体育水泳講習会		実施				
	冬季学校体育実技講習会	実施	実施	実施	実施	実施	2/17~19 留寿都村で開催
○「小学校体育実技講習会」は平成28年度まで毎年実施。「中学校・高等学校体育実技講習会」、「学校体育柔道・剣道講習会」と「学校体育水泳講習会」は、それぞれ交互に実施する。							
○また、「冬季学校体育実技講習会」は、スキー3年実施の後、スケート1年実施とする。							
担当課	健康・体育課	26年度予算	4,210千円	25年度予算	1,046千円		

事業名	○子どもの体力向上推進事業費				
目的：子ども体力低下に歯止めをかけ、上昇傾向に転じさせるため、学校・家庭・地域において、子どもの体力向上を目指した取組を推進する。					
事業概要等 (単位：千円)					
事業名	事業内容			予算額	H25実績
地域を 活用し した学 校と 丸ごと 子ども の体力 向上推 進事業	子どもの体力向上支援コンソーシアムの設置 (3回開催)	○教育委員会、大学、スポーツクラブなどによるコンソーシアムの設置 ○実践研究事業の実施による検討	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析 ・効果的な体力向上策の提案、取組の改善等 ・子どもの体力向上に関する実践研究事業の実施 ・大学生、地域指導者、著名なスポーツ指導者を外部指導者として実践校に派遣 ・市町村教育委員会や学校への支援及び情報提供	10,553	・体力向上支援委員会の開催 (2回開催) ・道内14地域14校の指定
運動部活動指導の工夫・改善支援事業 (延べ42校に外部指導者を派遣)	○中学校・高等学校の部活動などにおいて、地域指導者を派遣し、運動部への参加機会の確保や充実を図るため地域の大学や関係団体との連携を再構築する。	・スポーツ人材の確保や人材リストとしての登録、情報提供及び学校支援地域本部との連携を図るため、「地域スポーツ人材活用促進委員会」を設置 ・地域のスポーツ人材を学校へ派遣	5,326	・8市3町の中学校3校 高校8校に地域人材を派遣	
担当課	健康・体育課	26年度予算	15,879千円	25年度予算	18,690千円

事業名	○体力運動能力調査費										
目的	児童生徒の体力や運動能力について調査し、その実態を把握するとともに、過去の調査結果や全国の状況を比較検討し、今後の本道における体育行政及び学校体育に関する指導の資料とするため、昭和54年度から3年毎に行ってきた実態調査を実施する。										
対象校及び対象人員	(平成24年度)										
	学校種別	学校総数	児童・生徒総数	対 象 者	備 考						
				対象校	対象人数						
	小学校	1,241	272,693	112	20,160	道内全児童生徒の約5%程度の児童生徒を調査対象として抽出した。					
	中学校	657	140,736	59	5,310						
	高等学校(全)	245	108,411	22	1,980						
	高等学校(定)	49	5,243	4	320						
	計	2,192	527,083	197	27,770						
調査対象及び種目	<table border="1"> <tr> <td>調査対象</td> <td>実 施 種 目</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ</td> </tr> <tr> <td>中学・高校生</td> <td>握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子1500m、女子1000m)、若しくは20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ</td> </tr> </table>					調査対象	実 施 種 目	小学生	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ	中学・高校生	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子1500m、女子1000m)、若しくは20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
調査対象	実 施 種 目										
小学生	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ										
中学・高校生	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走(男子1500m、女子1000m)、若しくは20mシャトルラン(往復持久走)、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ										
	* 3年毎に実施										
担当課	健康・体育課	26年度予算	千円	25年度予算額	千円						

事業名	○子どもの体力向上パワーアップ事業費			
目的	本道の子どもの体力を全国平均以上に高めるため、学校における体力向上の取組を総合的に推進する。			
事業内容				
区分	目的	事業内容	予算額	
「体力向上Webシステム(仮称)」の開発	新体力テストを活用した学校や子どもの取組を支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校が自校の集計結果を入力することで、全国平均や全道平均と比較し、課題を可視化</li> <li>子どもが自身の種目別得点を入力することで、体力の状況をレーダチャートのグラフで表示</li> <li>新体力テストの集計ソフトや新体力テストの実施方法の動画など、関係コンテンツを掲載</li> </ul>	3,000	
体力向上先導的総合実践事業(14市町村で実施)	体力向上のトップランナーとなる市町村への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技種目の上位県で実施している取組を実践し、適切に事業が実施されるよう有識者アドバイザーからの指導の実施</li> <li>スポーツ教室の開催</li> <li>体力手帳の活用(運動習慣に係る目標の記録、新体力テストの結果の記録)など</li> <li>社会教育と連携した取組</li> </ul>	4,119	
新体力テスト指導改善エキスパート養成事業	新体力テストの効果的な実施に向けたリーダーの養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>新体力テストの効果的な実施方法と校内の実施体制</li> <li>子どもの意欲を喚起する指導方法</li> <li>テスト結果を活用した運動プログラム例</li> <li>正しい実施方法を解説した指導資料の作成・配布</li> </ul>	2,947	
担当課	健康・体育課	26年度予算額	10,066千円	

事業名	○学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業（放課後子どもプラン推進事業費補助金）				
目的	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子供たちに学習やスポーツ、様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する取組により、子供たちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子供が安心して暮らせる環境づくりを推進する。				
事業内容					
実施主体	項目	事業内容等	補助率	H25実績	
市町村	子供教室の実施	地域の子供全般を対象に活動拠点を提供	国1/3以内 道1/3以内 市町村1/3以上	実施市町村・教室数（政令都市、中核市除く） ・60市町村 ・111教室 ・小学校141校 ・中学校20校	
	子供教室の備品整備	開設備品（カーペット、テレビ、机等）の整備			
	コーディネーターの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整（児童クラブとの調整）			
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等（児童クラブ含む）（構成員：行政、教職員、児童クラブ関係者、PTA、地域住民等）			
北海道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討（構成員：道教委、保福部、教職員、学識経験者等）	国 1/3 道 2/3	年4回開催 道内7会場、11回開催、参加者1,046名	
	指導者研修の実施	コーディネーター等への研修の実施			
担当課	生涯学習課	26年度予算額	69,579千円	25年度予算額	82,395千円

## 平成26年度 スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

<b>事業名</b>	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）																																								
<p>目 的：地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的として取り組む各種事業に対し、総合振興局・振興局が交付金を交付する。</p> <p>制度の体系：地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）は、一般事業、福祉振興・介護保険基盤整備事業、地域産業基盤整備事業、エゾシカ緊急対策事業、集落維持・活性化促進事業の5つに区分。</p> <p>事業内容（一般事業のうちソフト系事業のみ例示）</p>																																									
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">交付対象事業</td> <td colspan="3">総合振興局・振興局毎にメニュー設定</td> </tr> <tr> <td>交付対象者</td> <td colspan="3">市町村、一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等、総合振興局長・振興局長が適当と認める団体</td> </tr> <tr> <td>交付上限額</td> <td>単一市町村</td> <td>:</td> <td>500万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等</td> <td>:</td> <td>1,000万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総合振興局長・振興局長が適当と認める団体</td> <td>:</td> <td>300万円</td> </tr> <tr> <td>交付下限額</td> <td>単一市町村</td> <td>:</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等</td> <td>:</td> <td>50万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>総合振興局長・振興局長が適当と認める団体</td> <td>:</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>交付率</td> <td colspan="3">2分の1以内</td> </tr> </table>				交付対象事業	総合振興局・振興局毎にメニュー設定			交付対象者	市町村、一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等、総合振興局長・振興局長が適当と認める団体			交付上限額	単一市町村	:	500万円		一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等	:	1,000万円		総合振興局長・振興局長が適当と認める団体	:	300万円	交付下限額	単一市町村	:	50万円		一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等	:	50万円		総合振興局長・振興局長が適当と認める団体	:	10万円	交付率	2分の1以内		
交付対象事業	総合振興局・振興局毎にメニュー設定																																								
交付対象者	市町村、一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等、総合振興局長・振興局長が適当と認める団体																																								
交付上限額	単一市町村	:	500万円																																						
	一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等	:	1,000万円																																						
	総合振興局長・振興局長が適当と認める団体	:	300万円																																						
交付下限額	単一市町村	:	50万円																																						
	一部事務組合、広域連合、複数市町村構成協議会等	:	50万円																																						
	総合振興局長・振興局長が適当と認める団体	:	10万円																																						
交付率	2分の1以内																																								
<b>担当課</b>	地域づくり支援局 地域政策課	26年度予算額	3,970,000千円 (※ 地域づくり推進事業分)	25年度予算額	3,900,000千円 (※ 地域づくり推進事業分)																																				



## 平成26年度 スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

事業名	○明るい長寿社会づくり推進事業費				
目的	介護予防の観点から、高齢者の各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。				
事業内容	（単位：千円）				
	項 目	内 容	H25実績		
	高齢者の社会活動についての啓発及び普及啓発事業費	情報誌	2,800部		
	高齢者のスポーツ・健康づくり地域活動等推進組織づくり事業費	全道高齢者スポーツ等大会の開催、全国健康福祉祭への選手派遣等	12種目に助成 全国へは135名派遣		
	高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業費	高齢指導者（シニアリーダー）の育成	163名の指導者登録		
	仲間づくり支援事業費	生きがいネットワークづくりの支援	2圏域で4回、講演会、自主事業の支援を実施		
	老人週間事業費	全道高齢者作品展の開催、老人週間啓発事業	作品展の実施		
担当課	高齢者保健福祉課	26年度予算額	41,095千円	25年度予算額	42,899千円

事業名	○障害者スポーツ振興費				
目的	障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、全国大会への選手派遣経費等に対し助成を行う。				
事業内容	（単位：千円）				
	区 分	事 業 名	概 要 等	予算額 当 初	H 2 5 実 績
大会開催事業		北海道障害者スポーツ大会	・大会規模：選手600名 ・競技数：7競技	9,850	開催地：帯広市ほか 参加選手：573名
		北海道障害者冬季スポーツ大会	・大会規模：選手200名 ・競技数：2競技	1,557	開催地：長沼町 参加選手：117名
		はまなす全国車いすハーフマラソン大会	・大会規模：選手100名	14,000	開催地：札幌市 参加選手：67名
大会派遣事業		全国障害者スポーツ大会	・大会規模：選手3,500名 ・競技数：13競技	11,777	開催地：東京都 派遣選手：47名
障害者スポーツ指導者養成事業		障害者スポーツ指導員養成講習	・地域において障害者スポーツの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	396	開催回数：3回 受講者数：56名
		競技指導者研修事業	・障害者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	4,516	開催回数：3日間 受講者数：21名
障害者スポーツ普及促進事業		知的障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障害者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	361	開催回数：10回 受講者数：136名
		身体障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障害者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	293	開催回数：9回 受講者数：244名
		精神障害者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障害者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	368	開催回数：2回 受講者数：22名
障害者スポーツ普及振興事業			・障害者スポーツに関する調査・研究、地方障害者スポーツの指導援助など障害者スポーツの普及振興	586	障害者スポーツの普及促進
担当課	障がい者保健福祉課	26年度予算額	43,704千円	25年度予算額	48,661千円

## 平成26年度 スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

<b>事業名</b>	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費																
<p><b>【目的・概要】</b>                  アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。</p> <p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格認定証書等の作成・交付</li> <li>・ 試験実施状況等の確認</li> </ul> </li> <li>○ 資格制度の運営管理                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格制度推進委員会の開催</li> </ul> </li> <li>○ 資格制度の普及PR</li> </ul> <p><b>【平成25年度実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資格認定等</li> </ul>																	
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトドアガイド資格新規認定</td> <td style="text-align: center;">18件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド資格更新認定</td> <td style="text-align: center;">61件</td> </tr> <tr> <td>アウトドアガイド検定合格認定</td> <td style="text-align: center;">33件</td> </tr> <tr> <td>アウトドア講習修了認定</td> <td style="text-align: center;">418件</td> </tr> <tr> <td>人材育成機関更新認定</td> <td style="text-align: center;">0件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試験等実施状況の確認 検定試験1回、講習3回</li> <li>・ 資格制度推進委員会の開催 1回</li> </ul>						区分	件数	アウトドアガイド資格新規認定	18件	アウトドアガイド資格更新認定	61件	アウトドアガイド検定合格認定	33件	アウトドア講習修了認定	418件	人材育成機関更新認定	0件
区分	件数																
アウトドアガイド資格新規認定	18件																
アウトドアガイド資格更新認定	61件																
アウトドアガイド検定合格認定	33件																
アウトドア講習修了認定	418件																
人材育成機関更新認定	0件																
<b>担当課</b>	観光局	<b>26年度予算額</b>	639 千円	<b>25年度予算額</b>	644 千円												